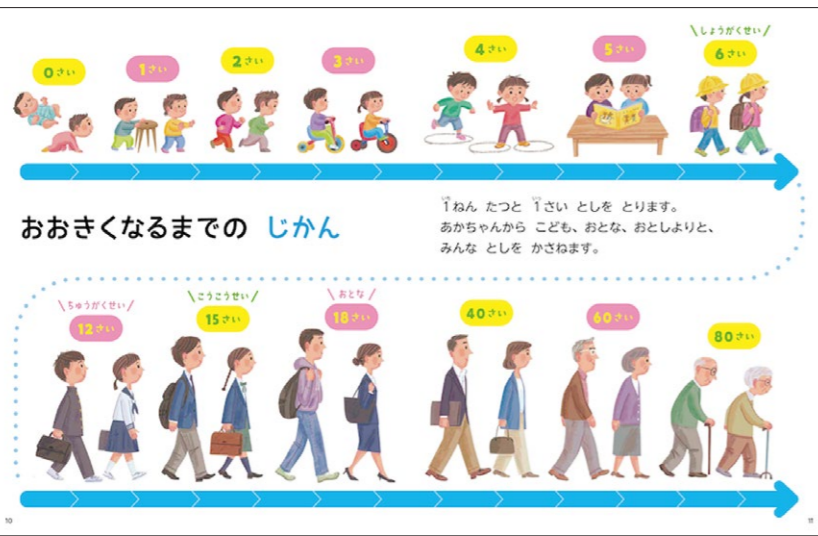


今月は「じかん」

6月10日は「時の記念日」。過去から現在、未来へと過ぎ去っていく「時間」を取り上げました。「人によって時間の感じ方は違うの?」といった疑問から、世界で最初の時計、最近のおもしろい時計まで、時間や時計のことを伝えます。

ページをめくると...



10・11 から 12・13 の展開例

どんな
じかんで
すごしてきた?

ねらい 日々の生活を思い浮かべながら、1日、1週間、1か月、1年……と過ごした時間を実感できるようにしましょう。

どのように とけいが うまれたの?

14・15 ページ



ねらい 日時計や自然の力をつかった時計など、人々の知恵や工夫で進化した時計に興味をもてるようにしましょう。

つかい方のポイント 太陽が作り出す影を見て時間を測る日時計が最初に生まれ、自然のさまざまな力をつかってほかにも時計が作られていきました。日時計や水時計で生活するとしたらと考えさせると、時計をたいせつに感じられるようになりますね。

さまざまな とけいの かたち

20・21 ページ



ねらい 生活するなかで、さまざまな時計が生まれて進化したことやいろいろな時計があることを知り、関心を高められるようにしましょう。

つかい方のポイント 昔の時計はいまの時計とどんなところが違うか、また似た時計を見たことがあるかなどと、話してもよいですね。身近にある時計を見にいったり、ほかにどんな時計があるか調べてみたりするのも楽しいでしょう。

じかんの
かんじかたは
いろいろ?

おなじ じかんだけど...

ながれる じかんなは おなじですが、かんじかたは ひとそれぞれです。



じぶんの じかんの かんじかたも その ときによってかわる ことがあります。

おなじ じかんが かつても...



じかんの かんじかたが ちがうと、ふべんな こともありますね。だから、だれでも おなじ じかんがわかる のが できたのです。それは なんでしょう?

ねらい みんなに流れる時間は同じでも、人や場合によって時間の感じ方に違いがあるということに気づけるようにしましょう。

つかい方のポイント どんなときに時間があったという間を感じたり、長く感じたりするかを話し合ってみるのもよいですね。

あそびの 展開例

遊ぶ時間はどのくらいがよいか体感してみよう

- ねらい**
- 時間の長い・短いを実感する。
 - 活動に必要な時間を予想し、確かめる。
- 遊び方**
(子どもが経験すること)
- 10分で積み木を積み上げて、時間が足りなかったか、それとも長かったか、感じたことを話し合う。
 - 積み上げたい高さになるまでにはどれくらいの時間が必要か話し合い、実際にその時間でやってみる。
- 保育者の配慮**
- 時間に追われる感覚にしないよう、見守りながら適宜急がなくてよいことを伝える。
 - 子どもたちが気づいたことを出し合えるよう、話し合える環境を準備する。

「しぜん」を読めば答えがわかる!
今月の
扉ページのクイズ

- 1しゅうかんは なんにち?
- じかんの かんじかたは みんな おなじ?
- さいしょに うまれたのは どんな とけい?

*** 来月号は「さめ」です。お楽しみに!! ***